
- 知って防ごう！特殊詐欺～最近増えている手口について～
- 灯油、ガソリンの盗難に注意！



- 知って防ごう！特殊詐欺～最近増えている手口について～

被害が減らない特殊詐欺被害。「なぜだまされてしまうのだろう？」と思っている方も多いと思います。

相手は、一日中だましのことを考えているプロ集団です。対して、私たちは素人ですので、「自分はだまされない」ではなく、まずは、「誰でもだまされるものだ」と思うことが大切です。

そのうえで、詐欺の手口を知るとともに、自分だけでなく、周りの家族や友人に「おかしいな」と思うところがあれば声をかけてあげてください。

お互いに注意をし合い、特殊詐欺被害を防ぎましょう！

そこで、最近増えている特殊詐欺の主な手口を紹介します。

皆さん自身が手口を知るとともに、周りの人にも教えてあげてください。

▲ 架空料金請求詐欺

未払いの料金があるなど、架空の事実を口実としてお金をだまし取る（脅し取る）もの。

【手口の一例】

「未納料金のお知らせ 至急こちらまでご連絡ください。▲▲▲ - ■■■■ - ▲▲▲▲ (カスタマーセンター)」などのショートメールや、携帯電話に自動音声メッセージが届きます。

➡ 「なんだろう？とりあえずかけてみようか」と電話をすると・・・

「●●というサイトの登録料が未払いです。払わないと裁判になります。」

「コンビニで電子マネーを買い、その番号を教えてください。」

などと言われ、電子マネーの購入や現金送金などを要求されます！



- ❗ メールに記載された電話番号には、絶対に電話しないでください。
- 電子マネーでの支払い請求は詐欺を疑いましょう。

▲ オレオレ詐欺

親族や警察官などを装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金や、会社での損失補填等の名目で現金をだまし取る手口

【手口の一例】

警察官や行政機関の職員をかたり、「あなた名義の口座が詐欺事件に使われている。」「あなたの事件への関与が疑われる。逮捕されるか協力するかどちらか。協力するなら指定口座に振り込むように」などと電話がきます。その後SNSなどのやり取りを経て、ウェブ口座を開設させるなどして、指定口座に振り込むように要求してきます！

他にも、「病院で会社の通帳を無くしてまい、今日中にお客に払わないと大変なことになる。」「後で返すから、お金貸して。」など、孫などの親族をかたり現金を要求する手口も依然として発生しています。

逮捕されるか協力するか
この口座に入金するように



- ❗ 電話やメールでのお金の話は、詐欺を疑いましょう。
- 犯人の脅し文句は冷静さを奪うためのウソです。
- 電話やSNSなどのやり取りを止め、すぐ周りの人や警察に相談しましょう。

▲ 還付金詐欺

税金還付などに必要な手続きを装って被害者にATMを操作させ、相手の口座に送金させる手口

【手口の一例】

市役所職員を名乗る犯人から電話が来て、「**介護保険料の払い戻しがあります。**」「**今日中であれば、近くのATMから手続きができます。**」「〇〇銀行の者から電話があるので、指示に従ってください。」などと言われます。

すると、今度は銀行員を名乗る犯人から電話が来て、「携帯電話とキャッシュカードを持って、〇〇にあるATMに行ってください。ATMに着いたら電話をください。」と指示をされ、言われるがまま、電話をすると、「まず、『残高照会』のボタンを押してください。」「**『振込』のボタンを押してください。**」などと細かく操作を指示され、その通りに操作をすると、**最終的に犯人の口座に振り込む手続きをさせられ、現金をだまし取られてしまいます。**

残高照会のボタンを押してください。
振込のボタンを押してください。



！ ATM+還付金（払い戻し）は詐欺です！

■ 灯油、ガソリンの盗難に注意！

原油価格が高騰して、灯油やガソリン価格は高止まりの状況です。価格高騰が続くと、注意しなければならないのが盗難被害。

過去にも価格高騰の際には全国的に被害が多くなっています。

家庭に設置されたホームタンクからの灯油の抜き取りや、屋外に置いていた灯油入りのポリタンクが盗まれる、また、駐車中の車からガソリンが抜き取られるといったケースもあり、自衛での防犯対策が重要です。



【被害防止対策】

◆ 灯油盗難防止キャップカバーを取り付ける

ホームタンク内の灯油抜き取りの手口として、タンク上部の給油口のキャップを外し、ホースを入れて抜き取るケースなどが考えられます。キャップカバーはホームセンターやネット等で数千円で購入することができ、取り付けも簡単です。

◆ 灯油入りのポリタンクは必ず施錠設備のある場所に保管する

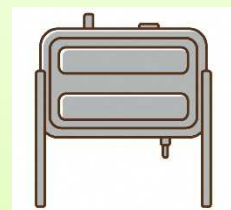
家の敷地内でも、鍵のかかる場所で保管する習慣をつけましょう。車両も可能な限り車庫内や、人目のあるところに駐車しましょう。

◆ センサーライトや防犯カメラの設置

人が近づくと点灯するセンサーライトや、夜でも撮影できる赤外線カメラの設置は犯行の抑止に有効です。

◆ 残量をこまめに確認する

ホームタンク内や車のガソリンの残量をこまめに確認し、メモしておくことで、早い段階で異変に気づくことができます。



▼ 編集・発行：新潟県 県民生活課 消費とくらしの安全推進班 安全・安心なまちづくり担当

〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1

TEL 025-280-5249 FAX 025-283-5879 E-MAIL ngt010230@pref.niigata.lg.jp

URL <https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kenminseikatsu/1203872471587.html>
